

羽生市 ～羽生市健康チャレンジ事業～

(1) 取り組みの概要

対象活動を行った者に対してポイントを付与し、そのポイントの合計が基準を満たした者に対して記念品を交付することにより、市民一人ひとりが実践的に健康づくりに取り組むよう動機付けを行うとともに、市民の健康づくりに関する意識向上を図り、もって市民が正しい生活習慣を身につけることを目的として実施。

(2) 取り組みの契機

①がん検診受診率の低迷

羽生市のがん検診受診率は、県内でも低い水準にある。死因の第1位が悪性新生物という事もあり、受診率向上対策の必要性は高い。

がん検診受診率(平成24年度) 【表1】

	羽生市	県平均	63市町村中順位
胃がん	1.9	6.1	57
乳がん	9.8	18.6	58
子宮がん	8.8	21	60
肺がん	2.4	17.5	62
大腸がん	11.2	20.4	50

②男性の健康寿命が、63市町村中52位

羽生市健康づくり計画では、「生涯を笑顔で楽しく健康に」を基本理念に掲げ健康長寿延伸も目標としている。市民が健康長寿を伸ばすためには、壮年期(40歳～64歳)から健康的な生活習慣を身につけ実践することが重要である。

③国保・後期高齢者医療制度の健全な財政運営の観点から医療費の伸びの抑制が求められている。

医療費適正化のためには、市民の健康づくりに対する意識改革をすすめ、行動変容を促す仕組みづくりが必要。

(3) 取り組みの内容

【表2】

事業名	羽生市健康チャレンジ事業	
事業開始	平成 26 年度	
	平成 29 年度	平成 28 年度
予 算	705,000 円 ・達成賞 500,000 円 ・シート印刷 162,000 円 ・PRポスター 43,000 円	705,000 円 ・達成賞 500,000 円 ・シート印刷 162,000 円 ・PRポスター 43,000 円
参加人数	211 人	220 人
期 間	H29.6 月～H30.3 月	H28.6 月～H29.3 月

①マイチャレンジ

健康に関する目標を立てて毎日取り組むことで、ポイントを獲得する。

期待する事業効果 健康意識の向上と健康行動の変容を目的に実施。

②健（検）診チャレンジ

特定健康診査等の健診の受診とがん検診受診で、ポイントを獲得する。

期待する事業効果 受診率の向上、疾病の早期発見を目的に実施。

③イベントチャレンジ

市が開催する健康関連事業に参加して、ポイントを獲得する。

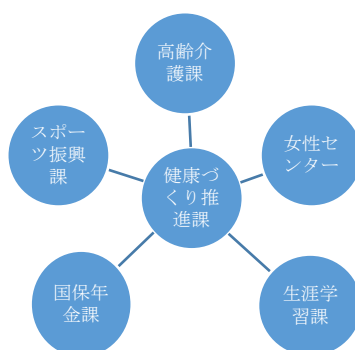
期待する事業効果 市の関係各課の事業参加率向上、健康行動の変容。

※①～③の獲得ポイントが、50ポイントに達すると商工会の商品券(1,000円分)と交換可能。

④取り組みの体制

健康づくりに対する市の方針を、市民に広くPRし、また健康長寿に全庁的に取り組むために、関係各課の事業をチャレンジ事業のポイント獲得事業として実施する。

関係各課： 国保年金課、スポーツ振興課、高齢介護課、生涯学習課
女性センター



(4) 取り組みの経過

①平成 29 年 4 月

庁内の関係各課に事業内容を説明し、協力を要請する。
各課の健康関連事業のチャレンジ事業を決定する。

②平成 29 年 5 月

チャレンジシート及びPRポスターの作成
健康チャレンジ目標、健診ポイント、イベントポイントを記入できる
チャレンジシート作成。

③平成 29 年 6 月上旬

市民への周知として、広報 6 月号に事業内容を掲載し、チャレンジシート
を全戸配布。

④平成 29 年 6 月中旬

チャレンジ事業の開始・市民のチャレンジ事業への取り組み開始。
同時に、各事業会場でチャレンジ事業のPRを行う。

⑤平成 29 年 1 月中旬

チャレンジシートの回収開始・アンケート記入、商品券と交換

⑥平成 30 年 1 月～3 月

記録の集計及び事業評価

⑦評価項目

マイチャレンジ達成者数、がん検診の受診状況、関連事業の参加状況等

(5) 取り組みの効果

①生活習慣の変容

取り組み後のアンケート調査によると、「健康づくりのきっかけと、続ける意欲をもらった」「自分の健康や医療費を気にするようになった」「運動などを続けていきたいと思う」「出かけることが楽しくなった」「いろいろな人と知り合えた」等、事業が健康づくりのきっかけとなり、行動変容につながっていることがうかがえた。

②がん検診の受診率の向上

取り組みの契機となった平成 24 年度のがん検診受診率と比較して、下記の表のとおり大腸がん以外の検診において、受診率の上昇がみられる。

がん検診受診率(平成 27 年度) 【表3】

	羽生市	県平均	63 市町村中順位
胃がん	3.4	4.1	42
乳がん	18.7	22.1	43
子宮がん	12.0	20.2	55
肺がん	4.0	10.1	57
大腸がん	10.7	13.9	42

(6) 課題や今後の取り組み

①医療費抑制効果が見えにくい

来年度からは、参加者及び参加者と年齢・性別が同じ方の医療費を調査し、検証したい。

②参加者数の伸び

4年目である本年度の参加者数によっては、下記の関連事業のPR方法を検討し、さらなる参加者の増加につなげたい。

【羽生市健康づくり関連事業】

【表4】

